

ふらっと.come!

令和6年10月25日 第86号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会

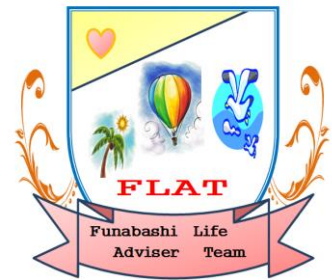
基幹相談支援センター「ふらっと船橋」

〒273-0021 船橋市海神1-31-31 ジュネス海神101

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776

HP <http://flat-funabashi.com/>

Email flat-funabashi@key.ocn.ne.jp



実り多き時間となれば・・・

基幹相談支援センター
統括所長 清水 博和



10月も後半となり「秋」の雰囲気・・・と例年ならこの時期は衣替えも終わり紅葉の見頃に合わせて予定を考えている頃のはずが、まだまだ半袖が片付けられない陽気に季節なのか季節感が変わって来そうです。春と秋が短く感じると共に気圧の変化が大きく体調を崩す方も少なく無いようです。

さて、今年度の当法人主催「講演会・シンポジウム」を11月12日(火)に開催致します。既にメール等でご案内をさせて頂いております。また、今回の広報誌とともに郵送でもお送りさせて頂きます。(一部の機関)

今年度のテーマは「どこまで実現・私の思い？」発題者として理事長の宮代より障害のある人への施策の変遷～時代はどのように動いてきたのか～を軸に、シンポジウムでは6名のパネリストの方々に各々の立場からご発言を頂きます。

最大の施策の変遷としては2003年の「措置から契約」へと変わり翌年に自立支援法へ移行されました。当方も当時は施設勤務をしており、この契約制度への切替わりは現場での困惑よりも運用面における混乱に日々追われていたように記憶しています。応益負担や日額制、契約という仕組みの理解すら「措置が当たり前」の職員が理解するには時間を要しました。直接支援の現場では、さほどの混乱も無く日々関わりを続けていたと思っております。施設主体の視点から地域における暮らしを支える視点がクローズアップされた時期でもありました。

今回のテーマである、どこまで実現・私の思いを改めて考えてみると、返還時は選択出来る仕組み(強要的選択ではあるが)の第1歩では、そこから少しずつサービスのオーダーメイド化に移りつつ、地域での役割の一部である相談支援という仕事が注目され出したかと。地域での暮らし(サービス利用)に必要なと大きく取り上げられた「相談支援専門員」計画相談の導入。

障害のある方の支援については、これまでの社会福祉法人やNPO法人等が主な受け皿としての認識から株式・合同会社・医療法人等も参入し、選択肢がとて多くなっています(量的資源として)利用者数増も現状でしょう。では、これが「私の思い」≠かと思った時に言葉を選ぶ、悩む場面は実際にあります。「どこで誰と、どう暮らしたいか」という本人の思いでは無く、「どこまで実現、事業者の思い」を感じる事もあります。この先、ご本人が今の状況から次のステップへと望んだ場合にきちんと「私の思い」に向き合える地域でありたいと個人として考えるところです。皆さんの思いと共にご参加をお待ちしております。

よろしくお願いいいたします！

船橋市役所 障害福祉課
大平 敬佑



はじめまして、8月より障害福祉課に異動してまいりました大平と申します。

私は入庁してから資産税課、環境政策課という部署を経て障害福祉課に参りました。資産税課では固定資産税の評価、環境政策課では環境保全活動や今流行りのSDGsの普及啓発活動を行っておりました。経歴からわかるように転職並みにジャンルが違う業務を経験してきました。福祉業務については未経験となります。私は常々市民を応援できる仕事をしたいと考えておりました。その思いから7月に能登半島地震の被災地派遣に1週間行っておりました。その派遣中に前課より連絡があり、異動が判明しました。そのため、モチベーションをそのままに障害福祉課に来た次第です。

また過去に私の身内に難病患者がいたことがありましたので同じような経験をされている方へ寄り添った対応ができればと思っております。

異動してきてからは、日々勉強の毎日です。至らないところが多いかと思いますが、皆様の支えになれるよう努めてまいりますのでどうかよろしくお願いいいたします。

ご本人主体の生活をサポート
させていただきます

Fぷらんにんぐ
相談員 長尾 亜希子



はじめまして。7月より勤務させていただいております、長尾亜希子(ながおあきこ)と申します。出身は埼玉ですが、家庭の事情で信州・東海で暮らし、愛知の友人から「あの『ふなっしー』の街に行くのね！」と見送られ引っ越して参りました。

これまでの仕事は、多機能型事業所で障がいをお持ちの方と一緒にパンを焼いたり、毎朝6時から北アルプスのリンゴ畑を発達障がいのお子さんたちと野球やマラソンしたりと福祉施設では対人援助職を主に16年ほど、他にはコールセンターやカーナビ製造ライン、ハウスメーカーの住宅設計補助といった会社員経験もあります。前職は、愛知県尾張北部の市町村で委託相談兼計画相談員として、どんな障がいがあっても、当たり前、ありのままに生活していける地域社会を目指して、微力ながらも奮闘しておりました。この度、家庭も落ち着き、ご縁があって船橋の皆様への支援に携われること、これからは地域に根を下ろしてじっくりと福祉に取り組んでいく機会をいただけたことに万感の思いで一杯です。

まだ転居してきて間もないので、船橋市独自の制度や社会資源、地名、公共交通機関の乗り継ぎなど慣れないことばかりですが、一日も早く皆様のお役に立てるよう精進してまいります。皆様、どうぞよろしくお願いいいたします。